

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	美山育成苑	施設種別	知的障害者更生施設 (旧体系：)
評価機関名	社団法人 京都社会福祉士会		

平成 20 年 3 月 13 日

総 評	<p>美山育成苑は南丹市美山町の山間部に位置し、自然豊かな山里でゆっくりと時間が流れているような印象を受けました。</p> <p>施設は昭和 56 年に京都手をつなぐ育成会により、親子ともども将来の幸福を願って設立され、そのときの理念が現在も引き継がれていることを訪問調査において確認しました。</p> <p>施設設立後 26 年が経過し、利用者の約 30% にあたる人が 60 歳をこえ、さらには 57% の人が重複障害者という現状を踏まえて、誰もが利用しやすい施設サービスを提供するためという強い信念から、国・府の施設整備補助金を受けて施設のバリアフリー化が平成 18 年 5 月に完了しました。さらに衛生と感染症予防という観点からも環境が整備されており、その意識の高さの一端を知ることができました。</p> <p>障害者自立支援法が制定されたものの、今後の具体的な仕組の展望が容易でないという状況にあるということで、明確な中長期計画を確認することはできませんでしたが、企画会議においてそれぞれの移行状況を想定したシュミレーションが検討されるなど、新体系移行への努力を推察することができました。</p> <p>今回訪問調査の確認事項として会議録等を見せていただきましたが、適切な公的記録であると高く評価いたします。</p>
特に良かった点(※)	<p>I-2-(2) 1-3-(2)</p> <p>事業計画等の作成において、ときにはトップダウンの場面もあるようですが、会議録、職員とのヒアリングにおいて職員の意見を取り入れるシステムがおおむね確立されていることがわかりました。また新体系移行後の経営や業務改善等の記録から、職員全員の積極的な参加のもとに検討していこうという姿勢を窺うことができました。</p> <p>II-1-(1)</p> <p>毎月の企画会において、利用状況等が分析・協議されると同時に職員会議において報告され、改善に向けて職員が一丸となった取り組みがなされています。</p> <p>III-1-(1)</p> <p>基本方針がしっかりしており、それに基づいたサービス提供の基本姿勢が明示され、サービスの向上にむけて絶えず努力をしておられます。</p>

<p>特に改善が 望まれる点(※)</p>	<p>1-1-(2)① 法人理念、基本方針が策定されています。しかし、職員の聴き取り調査においてわかったことですが、それらが記載された冊子を配布するにとどまっているのは残念です。今後は、各種会議等において管理者が説明されるなど、職員に周知される機会をもつことで、それらの目標、目的がより理解され、日々のさまざまな援助においても活かされていくことでしょう。</p> <p>II-2-(4)① 多数の実習生を受け入れ、実習生の支援にはベテランの職員が担当されているということですが、ベテラン職員の経験等にたよるだけではなく、どのようなときでも同じ手順で支援をすすめるためのマニュアルを整備されることをおすすめします。特に支援中の事故等の発生時においてマニュアルがあれば事故の原因・改善点も見えてくると思います。</p> <p>III-1-(3) 苦情解決の仕組みはできていますが、苦情の内容、解決の状況などについてあきらかにされていないようですので、利用者・家族等との可能な限りの情報の共有を目指した取り組みを望みます。</p>
---------------------------	--

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】

評価結果対比シート

受診施設名	美山育成苑
施設種別	知的障害者入所更生施設
評価機関名	社団法人 京都社会福祉士会
訪問調査日	平成20年 3月13日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	B	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	B	B
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	B	B
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	C	C
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	C	C
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。	A	A
		② 計画が職員や利用者等に周知されている。	B	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	B	B
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	B
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	A

[自由記述欄]

- I-1-(1)① 平成19年4月の広報誌、美山育成苑たよりの中で、施設長より「新年度を迎えるにあたって」と題して、事業計画(美山育成苑基本方針・基本姿勢等)が明文化されておりますが、明文化するだけでなく利用者・職員等に周知されることをお勧め致します。
- I-2-(2)② 各事業計画等は、企画委員会において十分に説明をされており(会議録確認)、さらには利用者には朝夕の集いにて報告・提示されたり、保護者には保護者会を通じて報告がされています。旅行の行き先等は本人・保護者にて決定していただく、さらに食べ物などは写真等で見て決定をしていただくなど利用者の立場に立った目線で工夫がされてきたことを評価致します
- I-3-(2) 管理者は各会議に出席され、施設の課題(福祉サービス・施設運営面等)に積極的に取り組み課題解決に向けて努力されていることを評価致します。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	B
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	A	A
		③ 外部監査が実施されている。	C	C
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	B	B
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	C	C
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	B
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	B	B
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	B	B
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	C	B
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	C	B
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	C	B
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		B	B	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	B	A
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	B	A
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。	B	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	B
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	C	C
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	C	B
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	C	B
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		B	B	

【自由記述欄】

- II-1 事業環境においては、市町村の合併や高齢化・少子化に伴う影響を考えて、苑の経営状況や人数把握のシュミレーションを行い、今日的な課題を把握されています。
又、法人内監査や京都府指導監査を受けて、経営の安定を図って経営改善に努力されていますが、今後、社会的に外部監査の必要性があると、思われます。
- II-2 人材育成のための研修は計画的に行われ、個人の報酬にも反映されていますが、人事考課に関しては「必要性はあると感じているが、実施していません」ということでしたので、研究し実施の方向へ向けての検討を望みます。又実習生の受け入れは、指導環境は充分確保されていますが、統一されたマニュアルを作成されることで、より充実した実習指導がなされることを望みます。
- II-3 安全管理に関しては、管理組織が確保され、感染症や事故・怪我のマニュアルや、無断外出などのマニュアルもあり、体制も充分整備されています。
- II-4 地域との連携や交流は地域との関わりが深まるように活発に行われ、苑の機能の還元(木工の手作り屋台の貸し出しなど)も行われています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	A	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	B	B	
	Ⅲ-1-(2) 利用者満足の上昇に努めている。	① 利用者満足の上昇に意図した仕組みを整備している。	B	B	
		② 利用者満足の上昇に向けた取り組みを行っている。	C	A	
	Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	B	B	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	B	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	C	B	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	C	B
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	B	B
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			B	B	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	B	A	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	C	B	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	B	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B	A	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B	B
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		B	B	
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B	B	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	B	A	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	A	A	
	Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	B	A	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	B	B	

【自由記述欄】

Ⅲ-1-(2)-② 会議等での検討結果が、利用者が安全に生活できるようトイレ改修等バリアフリーに繋がっている点を評価致します。

Ⅲ-1-(3)-② 苦情解決の仕組みは整備されておりますが、情報公開という点において公表されることを望みます。

Ⅲ-2-(2)-① 各会議での検討、マニュアル化、文書化が丁寧に行き届いております点を評価致します。

Ⅲ-3-(1)-② 重要事項説明書、契約書等において、文字を大きくする、ルビをうつなど利用者に解りやすい工夫を検討願います。